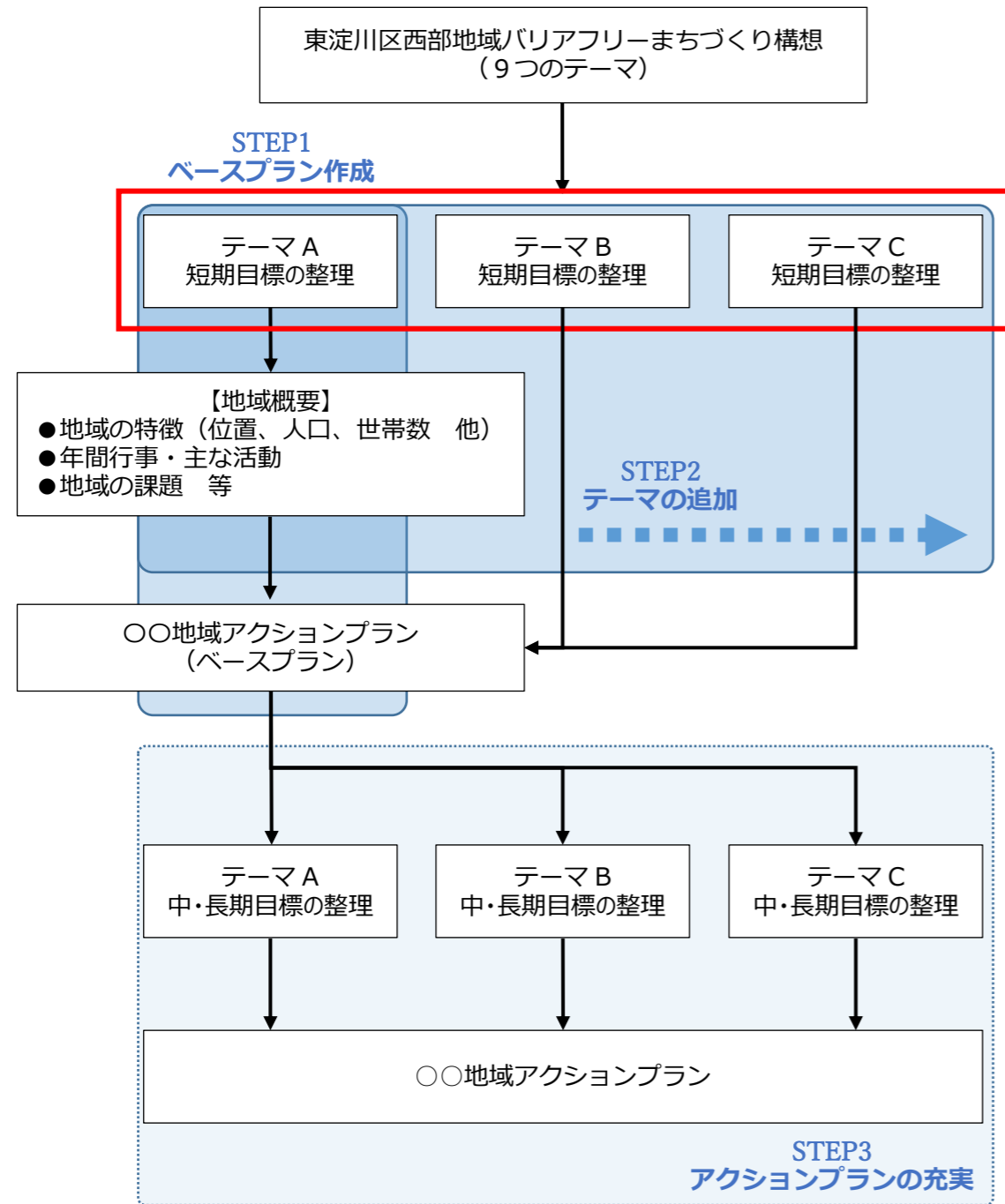


1.アクションプラン策定イメージ

1-1.アクションプランの策定方法（案）

STEP1	地域において重要なテーマ、優先度が高いテーマ（1つ以上）を選び、 最初に短期目標の整理 を行いベースプランの作成を目指す。
STEP2	環境（人員・内容）や整理がしやすいテーマについて作業しテーマを追加する（□）
STEP3	テーマ毎の中・長期の目標を整理しアクションプランの充実を目指す。



1-2.短期目標の整理

1.整理するテーマの選択

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想の9つテーマ

整理するテーマ (①~⑨から1つ選択して()に記入)

①第三の居場所づくり・孤独を作らない	②誰にもやさしいユニバーサルデザイン	③多様な世帯にとって住みよい住環境	テーマ () 理由 (地域でのワークショップなどの時に意見交換の材料) 整理するテーマを1つ選択
④子育てがしやすい・子ども孤食をなくす	⑤楽しい地域活動ができる	⑥世界各地から人が集まり交流が生まれるまち	
⑦高齢者が安心して暮らせる	⑧人と人をつなぐ垣根を越えた関係	⑨歴史や文化を尊重するまち	

2.地域活動の整理

()の活動について (1で選択したテーマの番号を記入)

A.現在行っている活動【短期目標】 (実施されている地域活動を記入) A.記入例 ○○活動 △△活動	C.休止している活動 (休止している地域活動を記入) C.記入例 □□活動 ☆☆活動	E.再開できない原因 (Dが実施できない理由:場所がないなど) EとFについては中・長期目標の整理の段階で活用
B.なぜ行うのか、対策の内容 (理由や対策の内容などを記入) B.記入例 理由 コロナ禍以前より参加者の多い行事である 対策 消毒や検温の徹底	D.優先的に再開したい活動 (Cで記入した活動から抜粋) D.記入例 □□活動 ⇒記載する活動は一旦短期又は中期目標 ⇒記載しない活動は一旦長期目標	F.原因の解消 (Eの解決策:会館の貸出など)